

2027 年度

鹿児島大学大学院保健学研究科
保健学専攻博士（後期）課程

学生募集要項

[一 般 選 拔]

[社 会 人 特 別 選 拔]

[外 国 人 留 学 生 特 別 選 拔]

鹿児島大学大学院保健学研究科

「UCL 稲盛留学生制度」について

～英国の名門校ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL) に
1年間留学し、学ぶことができる制度です～

鹿児島大学は、幕末時代の薩摩藩の精神を継承し、「進取の精神・気風」を備えた人材を輩出する理念の基に、鹿児島大学21世紀版薩摩藩英国留学生派遣事業「UCL 稲盛留学生」制度を設立しています。

この「UCL 稲盛留学生」制度は、鹿児島大学に在籍しながら単位取得のために UCL の授業を受講し、通常の UCL の正規学生と同じ扱いを受ける学生として各分野における卓越した学問を修得することを目的として1年間 UCL へ留学します。

本学が、この「UCL 稲盛留学生」に求めるものは、「大きな将来性」であり、本学ならびに我が国を代表する教育者や研究者になること、稲盛和夫鹿児島大学名誉博士のような我が国をリードする世界的企業人として活躍できる人物を目指すところにあります。

【事業概要】

年間1～2名を UCL への留学候補者として選抜し、UCL からの入学許可を得た者（「UCL 稲盛留学生」）に鹿児島大学稲盛和夫基金を財源として経済的に支援します。

1. 対象者 本学大学院の修士課程、博士課程に在学する者又は入学を予定する者。
2. 支援予定人数 1～2名
3. 応募要件 (抜粋)
 - (1) 学部在籍時の GPA が 3.3/4 以上の者。
 - (2) UCL への申請時まで次の水準以上の英語能力を有する者
 - ・ IELTS (Academic Module) 6.5 以上又は
 - ・ TOEFL iBT(internet-Based-Test) Total Score 92 点以上で且つ4技能についてはすべて、以下の点数以上であること (R24,L20,S20,W24) 以上に相当する英語能力を有していること※ただし、UCLの希望するプログラムが、入学許可に必要な英語能力水準を明示している場合は、当該水準以上の英語能力を有している者
4. 支援内容 ロンドンまでの渡航費 (往復)、ロンドンの滞在費、UCL の授業料、その他留学のために必要と認められる経費
5. 募集時期 派遣前年の9月～11月頃を予定
6. UCL への応募時期 派遣年の3月
7. 派遣時期 毎年9月頃
8. 単位互換 UCL で履修した授業科目について修得した単位は、各研究科の修了単位数に互換できる場合があります。単位互換については、所属する研究科へお問い合わせください。
9. 制度に関する問合せ先 鹿児島大学学生部国際事業課留学生係
TEL 099-285-3124 (平日：9:00-16:30)
E-mail ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿児島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人鹿児島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生や規制対象となる居住者の受入れに際し厳格な審査を行っていますので、出願を希望する場合は、出願前できるだけ早い段階で問合せ先へ相談してください。

規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。

なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理に関する Web サイトを参照してください。

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/research/anzenhoshou.html>

保健学研究科保健学専攻博士後期課程

〔教育目的〕

保健学に関する科学的探求心を培うことにより、深い知識と高度な専門技術を修得した質の高い教育・研究者並びに離島・へき地や地域の保健・医療における管理・指導者となる有能な人材を育成し、併せて教育研究の成果及び情報を広く提供し、社会に貢献することを目的とする。

1 教育目標

- (1) 高度な専門知識・技術を身につけた管理・指導者の育成
- (2) 医療専門職としての質の高い教育・研究者の育成
- (3) 離島・へき地や地域の保健・医療活動において管理・指導者として実践できる人材の育成
- (4) 国際医療活動において指導者として貢献できる人材の育成

2 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 求める人材像

- ・ 保健学の課題について、科学的・倫理的な思考に基づいて自律的に研究し、解決していくことに意欲のある人
- ・ 保健学における高度専門職業人としての優れた知識や技術・態度の獲得を目指す人
- ・ 保健学の高等教育機関における教育者・研究者を目指す人
- ・ 離島・へき地や地域の保健医療施設等において高度な専門知識・技術を身につけた管理・指導者を目指す人
- ・ 国際保健において指導者として活動することを目指す人

(2) 入学前に身につけておいて欲しいこと

- ・ 自律的な問題解決能力や論理的思考能力
- ・ 保健学に関する専門的知識と技術

(3) 入学者選抜の基本方針

保健学の発展に寄与する研究・教育・実践に対して強い関心と熱意をもち、自律的な研究課題や目標の設定を行い、その分析や解決に創造的に取り組む意欲と能力を有するかどうかを英語、面接等によって評価します。

〔出願に係る個人情報保護について〕

個人情報保護に関しては、以下のとおり取り扱いますのでご了承願います。

1 利用目的

出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報は、次に掲げる目的に利用いたします。

- (1) 入学者選抜、合格発表、入学手続きなど、入学までの一連の業務を行うため。
- (2) 入学後の学籍関係（学生証交付、各種学籍処理、証明書発行等）、修学関係（履修登録、学業成績等）及びそれらの連絡通知を行うため。
- (3) その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務を行うため。

2 第三者への個人情報の提供について

個人情報の第三者への提供は、次に掲げる場合に限ることにいたします。

- (1) 本学入学者について、名簿作成及び連絡通知等に使用するために本学の関連組織である学友会・同窓会等からの名前、所属に限り照合に応じる場合。
- (2) 法令に基づき公的機関等の要求に応じる場合や出願者本人及び第三者の生命・身体・財産の権利利益を保護するために必要な場合は、本人の同意を取ることなく、個人情報を提供する場合があります。
- (3) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合。

入学試験に関する日程

出願資格審査受付期間	2026年5月11日(月)～2026年5月15日(金)
願書受付期間	2026年6月17日(水)～2026年6月30日(火)
入学試験日	2026年8月24日(月)
合格発表日	2026年9月16日(水)
入学手続期間	2026年9月24日(木)～2026年10月1日(木)

1. 募集人員には、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜の募集人員若干人を含みます。
2. 第2次募集は、原則として1次募集の合格者が募集人員に満たない場合に実施します。第2次募集実施の有無につきましては、2026年9月中旬以降に本研究科ホームページ (<https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~g-health/>) に掲載します。

目 次

1	募集人員	1
2	出願資格	1
3	出願方法	1
	(1) 一般選抜	
	(2) 社会人特別選抜	
	(3) 外国人留学生特別選抜	
4	出願書類等	2
5	出願資格審査	3
6	出願手続	6
7	選抜方法等	7
8	出願及び受験にあたっての注意事項	8
9	合格者の発表	8
10	入学手続	9
11	博士後期課程の修了要件及び学位の授与	9
12	大学院設置基準第 14 条による教育特例	9
13	長期履修学生制度	10
14	障害等のある入学志願者の事前相談について	10
15	入試情報の開示	10

保健学専攻博士後期課程の概要

1	設置の趣旨	11
2	各領域の概要と特徴	11
3	教員の研究課題等	13

試験場及び交通案内図

出願書類様式

1 募集人員

専攻	領域	募集人員
保健学専攻	保健看護学領域 神経運動障害基礎学領域 臨床精神神経障害学領域	6人

※募集人員には、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜の募集人員若干人を含みます。
※第2次募集は、原則として1次募集の合格者が募集人員に満たない場合に実施します。
※出願に際しては、指導を希望する教員にあらかじめご連絡のうえ出願してください。(P14～研究課題等を参照)

2 出願資格

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は2027年3月31日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は2027年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者又は2027年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - 1 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - 2 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (6) 個別の入学資格審査により、修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者で、24歳に達したもの又は2027年3月31日までに24歳に達するもの
- (7) 外国人留学生特別選抜においては、日本留学試験又は日本語能力試験を受験し、指定するスコアを取得している者
(注) 出願資格が上記(5)、(6)により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を行いますので、あらかじめ学務課保健学教務係まで照会してください。(3～4ページ参照)

3 出願方法

入学者の選抜は、「2 出願資格」のいずれかに該当する者について、一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜により行いますので、下記の選抜方法を選択のうえ出願してください。

- (1) **一般選抜**
一般選抜に出願できる者は、以下の(2)、(3)以外の者
- (2) **社会人特別選抜**
社会人特別選抜に出願できる者は、入学時までに医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において、通算して5年以上専門的な実務経験を有する者
- (3) **外国人留学生特別選抜**
外国人留学生特別選抜に出願できる者は、外国の国籍を有し、日本における在留資格が本学の入学に支障がない者

4 出願書類等

(1) 出願書類入手方法

出願書類の一部は本学大学院保健学研究科ホームページ（以下、保健学研究科HP）よりダウンロードし、印刷する必要があります。

(2) 出願書類

一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜に係る出願書類は、下記の「出願書類①」のとおりとします。

社会人特別選抜は、「出願書類①」に併せて「出願書類②」を提出し、外国人留学生特別選抜は、「出願書類①」に併せて「出願書類③」を提出してください。

なお、出願資格審査を受けた者は、出願資格審査時に本学に提出済みの書類を再度提出する必要はありません。

出願書類① （※印は保健学研究科HPよりダウンロードし、印刷すること）

提出書類等	摘要
① 入学志願票 ※	本要項の所定の用紙に記入すること。
② 受験票・写真票 ※	写真（縦4cm×横3cm、正面、上半身、無帽、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの）を各1枚貼付
③ 修士課程修了（見込み）証明書	出身大学院（研究科）の長等が作成したもの（出願資格（5）及び（6）の者は不要）
④ 成績証明書	出身大学院（研究科）の長等が作成し、厳封したもの（出願資格（5）及び（6）の者は不要）
⑤ 学位授与証明書又は学位申請受理証明書	大学改革支援・学位授与機構が証明したもの（大学改革支援・学位授与機構において、修士の学位を得た者及び出願期間中において学位の授与を申請中の者）
⑥ 修士論文等 ※	修士論文の写し2部及びその論文要旨（和文の場合2000字程度、英文の場合800語程度、本要項所定の様式に合わせて記入）2部。出願資格（5）及び（6）の者は不要 ※修士論文が未完成の者（2027年3月修了予定者）は、修士における研究計画書を提出すること（本学保健学研究科修了予定者は不要）。
⑦ 研究業績調書 ※	本要項所定の様式に記入すること。
⑧ 研究計画書 ※	以下の事項を記入すること（合計1000字程度） ①これまでの研究成果 ②今後の研究計画
⑨ 入学検定料 ※	本学大学院修士課程、博士前期課程を修了し、引き続き本研究科博士後期課程に進学する者、あるいは修士（博士前期）課程修了後、3年以内に入学的出願をする者からは検定料は徴収しない。 30,000円（国費外国人留学生は除く。）（外国政府派遣留学生等で、留学生から申請があった場合、入学検定料を免除する場合もある。） 5頁の「鹿児島大学 検定料払込方法」を参照の上、検定料30,000円（事務手数料は支払人負担）を支払い後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、「検定料納付確認票※」に貼付して提出すること。 また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 ①検定料を払込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合） ②誤って検定料を二重に払込んだ場合

⑩	返信用封筒(受験票送付用)	封筒(長形3号)に、志願者の住所、氏名、郵便番号を明記のうえ、切手(410円分)を貼付すること。
⑪	宛名票(合格通知用)※	本要項所定の用紙に、住所、氏名、郵便番号を明記すること。
⑫	住民票の写し又はパスポートの写し	日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する「住民票の写し」(在留資格が記載されたもの(個人情報(マイナンバー)の記載されていないもの))を、その他の者はパスポートの写しを提出すること。 (外国人留学生特別選抜志願者のみ)
⑬	出願資格審査合格通知書(写)	出願資格審査合格通知書の写 (出願資格(5)及び(6)の者のみ)

出願書類②(社会人特別選抜志願者のみ提出)

(※印は保健学研究科HPよりダウンロードし、印刷すること)

⑭	就学承諾書 ※	本要項所定の用紙により、所属長が発行したもの
⑮	在職期間証明書	在職時の職名、勤務期間を所属機関の長が証明する書類で、入学時までに5年以上の実務経験を証明したもの(様式任意)

出願書類③(外国人留学生特別選抜志願者のみ提出)

⑯	日本留学試験に関する証明書又は日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書(原本) (2024年以降に受験した1回の成績に限る)	出願に必要なスコア	
		日本留学試験	日本語220点以上(記述を除く)かつ日本語記述30点以上
		日本語能力試験	N1又はN2

5 出願資格審査

本要項「2 出願資格」の(5)及び(6)により出願を希望する者は、下記により出願資格の認定を受けてください。

(1) 提出書類 (※印は保健学研究科HPよりダウンロードし、印刷すること)

A 出願資格(5)により出願しようとする者

①	入学試験出願資格認定申請書 ※	本要項所定の用紙に記入すること。
②	卒業証明書及び成績証明書	出身大学(学部)の長が作成し厳封したもの
③	研究期間証明書	研究に在籍した機関の長が証明したもの
④	研究業績調書 ※	本要項所定の様式に記入すること。 研究業績の主要論文2編の別刷又はコピー3部を添付すること。ただし、2編のうち少なくとも1編は筆頭著者の論文とする。なお、印刷中の論文は、受理証明書も併せて提出すること。
⑤	自己推薦書 ※	本要項所定の様式に記入すること。
⑥	審査結果通知用返信封筒	長形3号の封筒に本人の住所、氏名、郵便番号を明記し切手(110円分)を貼付したもの

B 出願資格(6)により出願しようとする者

本研究科の出願資格の認定基準は、次のとおりとします。

大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程又は各種学校を修了し、又は外国において学校教育における14年の課程を修了し、医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において2027年3月末までに5年以上の実務経験(大学を卒業した者は3年以上、通算可)があり学術論文、著書、学会発表等により本研究科博士前期課程修了者と同等以上の学力があると認められる者であること。

① 入学試験出願資格認定申請書	本要項所定の用紙に記入すること。
② 卒業証明書及び成績証明書	最終出身学校長等が作成し厳封したもの
③ 在職期間証明書	技術的・専門的職業についての職歴を有する者で、その期間及び職務内容を明記し、所属機関の長が作成したもので5年以上(大学を卒業した者は3年以上、通算可)の実務経験を証明したもの(様式任意)
④ 研究業績調書 ※	本要項所定の様式に記入すること。 研究業績の主要論文2編の別刷又はコピー3部を添付すること。ただし、2編のうち少なくとも1編は筆頭著者の論文とする。 なお、印刷中の論文は、受理証明書も併せて提出すること。
⑤ 自己推薦書 ※	本要項所定の様式に記入すること。
⑥ 出身学校の規定等	卒業要件(在学期間、授業科目、単位等)の記載されたもの及び卒業に必要な授業科目のシラバス等(授業内容が記載されたもの)
⑦ 審査結果通知用返信封筒	長形3号の封筒に本人の住所、氏名、郵便番号を明記し切手(110円分)を貼付したもの

(2) 出願資格審査書類提出期間及び審査結果の通知

事 項	内 容
出願資格審査書類の提出期間	2026年5月11日(月)～2026年5月15日(金)17時迄
審査書類提出方法	封筒の表に「大学院出願資格審査書類在中」と朱書し、最終日の17時までに持参又は書留・速達郵便により提出すること。
審査書類提出先	〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1 TEL 099-275-6724 鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係
審査結果の通知	2026年6月12日(金)発送予定
	上記日付で申請者宛に郵便で通知するので、出願資格を認定された者は、出願手続を行うこと。この場合、卒業証明書、成績証明書、研究業績調書及び在職期間証明書は、再提出する必要はない。

鹿児島大学 検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、クレジットカードで24時間いつでも払い込みが可能です。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>



- ※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。
- ※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。
- ※確定画面に表示される番号をメモしてください。

2 お支払い

各店舗へ

そのまま
カード決済へ

コンビニエンスストアでお支払い

- 検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

7-Eleven

【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・
選考料取扱明細書」(チケット)を
受け取ってください。

LAWSON **MINI STOP**

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Loppi へ

各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付
(紫のボタン)
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】
を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジで
お支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

FamilyMart

【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

マルチコピー機へ

代金支払い

番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】
を入力

クレジットカードでお支払い

VISA **MasterCard**
JCB

※お支払いされるカードの名義人は、
受験生本人でなくても構いません。
但し、「基本情報入力」画面では、
必ず受験生本人の情報を入力してく
ださい。

Web申込みの際に、
支払方法で
「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

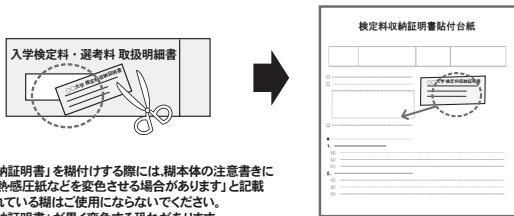
全入力内容が表示されますので、
正しければ「確定」を押す

お支払い完了です。
E-支払いサイトの申込内容照会
(URL: <https://e-shiharai.net/>) にアクセス
して下記の手順に従って、
「収納証明書」を印刷してください。

3 出願

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、
入学志願票の所定欄に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに
「感熱感圧紙などを変色させる場合があります」と記載
されている糊はご使用にならないでください。
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

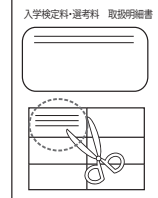
【クレジットカードでお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」に
アクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と
【生年月日】を入力して「取扱明細書」を印刷。
「収納証明書」部分を切り取り、
入学志願票の所定欄に貼り出願。

<注意>

プリンタのある環境が必要です。
スマートフォンでお申込みされた方は、
プリンタのある環境でご利用ください。

※クレジットカードでお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印」は不要です。



⚠ 注意事項

- 携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。
- 出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は14:00まで、店頭端末機の操作は15:00までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了します。14:00までにお手続きしてください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は返金できません。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限りです。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

6 出願手続

(1) 出願期間等

事 項	内 容
願 書 受 付 期 間	2026年 6月17日(水)～2026年 6月30日(火) 17時まで
出 願 書 類 提 出 先	〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1 TEL 099-275-6724 鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係

(2) 出願書類提出方法

出願者は、出願に必要な書類等を取りそろえ、レターパックライト(430円)で出願(宛名記載方法は下記参照のこと)してください。持参する場合は、レターパックライトではなく、角2封筒に入れて出願してください。

出願を受理したときは、「受験票」及び「受験者心得」を送付します。

【送付先】

〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号
鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係
TEL 099(275)6724

【レターパック宛名記載方法】

おとこころ: Address
〒890-8544
鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号
鹿児島大学医歯学総合研究科等
学務課保健学教務係 様

おなまえ: Name
学務課保健学教務係 様

電話番号: Telephone Number
099 (275) 6724)

おとこころ: Address
出願者本人の住所

おなまえ: Name
出願者本人氏名 様

電話番号: Telephone Number
出願者本人電話番号

品名: Contents Description
品名の記載が無い場合または内容品によっては、配達が遅れる場合があります。
Without a description or depending on the contents, delivery could be delayed.
願書を送ることはできません。
Cannot be used for send letters.

入学願書在中

ご利用方法
1 あて名書き シールでもOK
2 封入 封筒不要
3 保管用シールをはがす この保管用シールが印刷
4 差出し ポストでもOK
5 配達 郵便受け

ご依頼主様保管用シール
Sender To Retain
シール記載の番号により、追跡サービスがご利用いただけます。
配達状況お問い合わせ
インターネット: <http://www.post.japanpost.jp/>
国内電話から: 0120-23-28-86
国際電話から: 0570-046-666

はがして差出し

(注)「ご依頼主様保管用シール」は、発送時に必ずはがして、出願者が保管すること。

7 選抜方法等

(1) 選抜方法

① 一般選抜

英語、面接及び学業成績の結果を総合評価し、合格者を決定します。

② 社会人特別選抜

英語及び面接の結果を総合評価し、合格者を決定します。

③ 外国人留学生特別選抜

英語及び面接の結果を総合評価し、合格者を決定します。

(2) 学力試験日程等

試験科目等	各選抜の試験科目			試験日
	一般	社会人	外国人	2026年8月24日(月)
面接	○	○	○	9:30～
英語	○	○	○ ^{注1}	13:00～14:30

注1) 英語を母語とする志願者には日本語を課す。

※英語の試験では、英和・和英辞典及び医学専門英語辞典の持ち込み可。ただし、電子辞書は不可。

※試験時間帯は、出願者数により変更することがある。この場合、出願者に受験票送付時に通知する。

(3) 評価内容

試験科目等	配点	評価内容
英語	100	保健学に関連する英語の文献を読解できる能力を問う。
面接	100	研究者としての意欲や適性に加えて、修士論文等の研究内容や研究を行う上での知識、考え方を問う。

(4) 合否判定

合否判定は、入学者選抜方法及び領域に関係なく、全受験者を総合得点順に並べ、本研究科が定める合否判定基準を満たした得点上位者から順次行います。

なお、総得点が同点の場合は、英語、面接の得点の順により順位付けを行います。

(5) 試験会場

鹿児島大学桜ヶ丘共通教育棟

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1

(末尾参照)

8 出願及び受験にあたっての注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合、受理しないことがあります。
- (2) 出願に際しては、あらかじめ志望する領域の指導教員に事前相談したうえで出願してください。
事前相談は、入学後の研究内容や修学等の確認に限ります。入学試験に係る学力検査、口頭試問、面接等に対する指導や講評は行いません。また、事前相談の内容が、入試の選抜に影響することは一切ありません。
(14 ページ以降の教員の研究課題等を参照のこと。)
- (3) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。ただし、連絡先に変更があった場合は、学務課保健学教務係まで届け出てください。また、一旦受理した出願書類等は返還しません。
- (4) 提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消す場合があります。
- (5) 入学を志願する者のうち、障害を有する者で受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は、10 ページの「14 障害を有する入学志願者の事前相談」を参照し、出願期間前に学務課保健学教務係へ申し出てください。
- (6) 改姓等により卒業証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。
- (7) 試験室及び注意事項等は、試験前日の 13 時までに桜ヶ丘共通教育棟玄関（末尾参照）に掲示します。ただし、棟内の立入は禁止します。
- (8) 受験者は、試験開始 20 分前までに集合してください。なお、各試験開始後 30 分以上遅刻した場合は受験できません。
- (9) 試験当日は、必ず受験票を持参し係員に提示してください。受験票を紛失・忘れた者は、試験場本部に申し出てください。
試験場内での携帯電話等の使用は禁止します。これらを試験場内に持ち込む場合は、あらかじめ電源を切ってかばん等に入れてください。
机の上に置けるものは、黒鉛筆、シャープペンシル（黒）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）、辞書（英語の試験のみ。英和・和英辞典及び医学専門英和辞典は可、電子辞書は不可）です。その他のものは、指定の場所に置いてください。
- (10) 受験票は、受付期間終了後に出願者に送付します。試験日の 10 日前までに到着しない場合は、出願書類提出先に電話等で照会してください。
なお、郵送による照会は返信用封筒（郵便番号、住所、氏名を明記のうえ 110 円切手を貼付）を同封してください。

9 合格者の発表

合格発表日
2026 年 9 月 16 日（水）10 時
合格者には合格通知書を郵送します。 また、鹿児島大学大学院保健学研究科のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。 (アドレス https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~g-health/) なお、電話・メール等による合否の問い合わせには一切お応えいたしません。

10 入学手続

入学手続書類は合格通知と一緒に送付するので、下記の期日の間に必着するように郵送するか、鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係で入学手続を行ってください。

(1) 入学手続期間

2026年9月24日(木)～2026年10月1日(木)

(受付時間 9時から17時まで。時間を厳守願います。)

入学手続期間内に入学の手続を行わなかった者は、入学を辞退したものと取り扱いますので留意願います。

(2) 納付金(2027年度予定)

① 入学料 282,000円

② 授業料 267,900円(年額535,800円)

※料金改定が行われた場合、改定時から新料金が適用されます。

(注) ア 入学手続完了者が入学を辞退した場合、既納の入学料は返還できません。

イ 国費外国人留学生は入学料、授業料ともに不要です。外国政府派遣留学生等は、留学生から申請があった場合、入学料を免除する場合があります。

ウ 本学大学院修士課程(博士前期課程を含む)を修了し引き続き本研究科博士後期課程に進学する者、あるいは修士(博士前期)課程修了後3年以内に入学の出願をした者は入学料は不要です。

エ 入学料、授業料については、徴収猶予及び免除の制度があります。

詳細は、鹿児島大学学生部学生生活課経済支援係(電話099-285-7329)まで問い合わせてください。なお、入学手続後に入学を辞退する場合、入学料徴収猶予又は入学料免除の申請は無効となり、入学料を納入していただくことになります。

11 博士後期課程の修了要件及び学位の授与

(1) 修了の要件

本課程に3年以上在学し、所定の単位を12単位以上修得し、必要な研究指導を受けて学位論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することとしています。ただし、優れた研究業績を上げた者については、在学期間が短縮されることがあります。

(2) 学位の授与

本課程を修了した者には、本学学位規則の定めるところにより、博士(保健学)の学位を授与します。

12 大学院設置基準第14条による教育特例

社会人入学者の学修を容易にするために、大学院設置基準第14条による教育方法の特例に基づく昼夜開講制による教育を実施しています。

昼夜開講制の授業時間帯は、昼間(9:00～17:50、5時限まで)、夜間(18:00～21:10、6・7時限)です。また、必要に応じて土曜日、日曜日及び祝日等に集中講義や研究指導を行うことがあります。なお、一般選抜入学者についても夜間等の授業時間帯の履修を希望する学生には、履修を認めています。

13 長期履修学生制度

保健学研究科には、長期履修学生制度があります。これは職業を有している等の事情により、標準修業年限3年で修了することが困難な大学院生が、標準年限を超えて一定の期間（4年、5年又は6年）にわたり、計画的に履修し課程を修了することをあらかじめ申請し、その計画的な履修を認定する制度です。

なお、長期履修学生の授業料年額は、一般学生が標準修業年限在学した場合の授業料総額を、長期履修学生として許可された在学年限で除した金額となります。

合格通知の際に必要な書類を送付しますので、予定指導教員と相談のうえ期日までに学務課保健学教務係へ提出してください。

14 障害等のある入学志願者の事前相談について

学校教育法施行令第22条の3に定める障害等のある志願者又は発達障害のある志願者で、その障害等の程度に応じ、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、出願前に、事前相談してください。

なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

本研究科における事前相談の期間は、原則として、出願期間開始日の14日前までとします。ただし、期間を過ぎた場合でも、内容によっては対応可能なことがありますので、事前相談は行うようにしてください。

障害の程度や事前相談の方法などの詳細は下記の鹿児島大学ホームページよりご確認ください。
鹿児島大学（入試案内）：<https://www.kagoshima-u.ac.jp/exam/jizensoudan.html>

15 入試情報の開示

入試成績に関する個人情報については次により学務課で開示します。（受験票を持参してください。）

- (1) 受験者本人からの請求に基づき、試験科目の得点、面接の評価、合否の別を書面により開示します。
- (2) 入試成績の開示は、当該年度の入試に限り開示し開示期間は合格発表後2か月間とします。
- (3) 遠隔地等の理由により、来学が困難な場合は学務課に問い合わせてください。

鹿児島大学大学院保健学研究科保健学専攻博士後期課程の概要

1 設置の趣旨

保健学は人間を対象とし、保健・医療・福祉などに関する科学的探求と確かな技術の修得と創造を目的とした学問である（大学基準協会編「保健学系教育に関する基準」、平成14年）。

ところで、我が国では社会構造の複雑化・グローバル化と急速な科学の進歩に伴い、医療・医学においても高度専門化・細分化が進んでいる。また、急速な高齢社会の到来や少子化現象も見られ、国民の健康観・疾病観・障害観も大きく変容しつつある。

さらに、少子高齢化、医療の高度化や在宅医療の進展、介護・福祉分野の充実等、医療をとりまく社会情勢の変化により、人々の意識は、思いやりと倫理感のあふれる医療、リスクマネジメントを求めるようになってきており、医療従事者の養成に対する社会の期待は大きく、確かな専門性に加え、豊かな人間性や高い倫理観を備えた人材の養成が求められている。

このように複雑多様化する21世紀の保健・医療の現場においては、看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士等の医療専門職の深い知識と高度な技術が求められ、また、これら医療専門職の相互理解とチーム医療の発展が切望されている。

鹿児島大学（以下、本学）大学院保健学研究科保健学専攻博士（後期）課程においては、既設の保健学科及び保健学研究科保健学専攻博士（前期）課程における教育・研究の基盤の上に、保健学に関する知識を一層深め、技術をより高める教育を行い、独創的な研究を進めることにより、高度な専門性と倫理観を身につけた教育・研究者及び管理・指導者を養成する。

2 各領域の概要と特徴

保健学専攻博士（後期）課程では、次の3つの領域に焦点を当てた教育・研究を行う。

(1) 保健看護学領域の概要と特徴

保健看護学領域では、精神保健看護学と母性・小児保健看護学と地域健康看護学に関する教育・研究を行う。

精神保健看護学では、医療機関や社会復帰施設、地域で生活している対象者（妊娠女性も含む）の健康的な生活の回復・維持・増進を図るための看護とケアの実践・開発に関する教育・研究を行う。特に、精神看護が必要な現場においては、対象者の日常生活援助・ソーシャルサポートを通してストレスへの適応を促進し、よりよい健康状態へと移行できるような支援の仕方を研究・実践できる高度な看護専門職者の養成を目指す。

母性・小児保健看護学では、ライフサイクルにおける女性の各期の健康問題の回復と予防、小児の成長過程における健康回復と増進に向けた看護ケアの実践や医療システムの開発に関する教育・研究を行う。特に、母性・小児保健の基礎研究に加え、家族看護や多職者との連携など包括的視点で研究・支援が実践できる高度な専門職者の養成を目指す。

地域健康看護学では、まず、根拠に基づく科学的な看護実践や看護実践において必要とされる看護技術論、看護方法論の開発を目指した教育研究を行う。また、近年の社会の急激な変化に伴い疾病構造の変化がみられ、慢性疾患の増加により病を抱えつつもそれらをコントロールしながら、あるいは残存機能を最大限に活用しながら、より健康的な状態を目指すことが必要になってきている。その中で口腔・咽頭機能の障害により生じる摂食障害について、病態・解剖・生理学的側面から探求し、残存機能を最大限に発揮させるための看護技術や方法論を開発・実践できる看護者の養成を目指す。また、小児の発達と健康問題及びヘルスサービスの顧客の

満足度や職務満足度に焦点を当てた教育・研究を行う。

さらに、現代の保健・医療の進歩に重要な看護情報学の発達にともなう技術を積極的に導入活用し、健康の維持・増進のための支援が不足しがちな離島・へき地を含む地域の人々のニーズに応えられるようなIT利用によるネットワークの構築を研究・開発できる教育・研究者を養成する。また、リスクマネジメントや患者満足度も含めた医療・看護の質の向上と効率化を、evidenceに基づき実施可能にする看護管理学の教育・研究者を養成する。

(2) 神経運動障害基礎学領域の概要と特徴

神経運動障害基礎学領域では、運動障害基礎学と運動障害学及び神経障害基礎学に関する教育・研究を行う。

運動障害基礎学では、理学療法の対象となる運動障害の原因疾患の中で、特に筋肉、骨、関節等の運動器疾患及び骨・軟部腫瘍、並びに呼吸循環代謝疾患について、病理学的あるいは生理学的にその病態及び発生機序並びに生体の機能・能力への影響について教育・研究する。さらに、この研究から運動障害に対する病理学的思考を理学療法の領域で役立てると共に、呼吸循環代謝機能の理学療法における評価・解析法についても研究する。

運動障害学では、人の運動障害に関する教育・研究を行う。運動障害の構造は、〈1〉神経の機能・筋力・関節の構造、〈2〉各関節の運動、〈3〉全身の動作、と階層構造になっている。骨・関節疾患、神経・筋疾患などが原因で運動が障害された人のデータを踏まえた臨床運動学的解析や予後予測、運動療法に関する研究方法を教授する。さらに、運動障害における統計学的に分析された結果の臨床への適用についても教授する。

神経障害基礎学では神経障害の修復、障害からの回復という観点に立って神経障害の病態生理学的メカニズムと再生医学を、基礎的立場から研究を教授すると共に、研究者、指導者を養成することを目的とする。中枢・末梢神経の障害発生の抑制と障害からの回復を病態生理学的に解明していくには、培養神経系細胞と障害動物モデルでの実験的研究がなされていてサイトカインを含めた障害の病態生理が明らかとなっている。また最近は、再生医学の研究が隆盛を極めつつある。神経組織には神経回路網の構築が必要であり、それにはリハビリテーションや種々の学習が必須であるのでこれらの教育・研究を進める。

(3) 臨床精神神経障害学領域の概要と特徴

臨床精神神経障害学領域は、認知リハビリテーション学及び精神障害リハビリテーション学に関する教育・研究を行う。

認知リハビリテーション学は、ニューロサイエンスの中では比較的新しい学問の領域であり、その対象は近年漸次拡大し、また神経心理学をはじめとする関連領域との連携をますます深めつつある。そこで、認知リハビリテーション学では、脳血管障害や頭部外傷、痴呆（認知症）などの脳損傷によって生じた高次脳機能（認知）障害とそれから発生する種々の動作及び応用動作能力または社会的適応能力の回復を図るための基盤的・先端的な作業療法的及び神経心理学的分析とそのアプローチ方法を教授する。そしてそのような認知障害の脳神経のメカニズムの分析や新たな認知リハビリテーションの実践方法の開発を目的とする研究者・指導者を養成する。

精神障害リハビリテーション学では、鹿児島県における人口に対する精神科の病床数が全国平均の約2倍で在院日数もきわめて長いことを踏まえて、機能的なリハビリテーションを実施するために精神医学的及び作業療法的観点から総合的な教育研究を行う。特に、精神障害者のリハビリテーションにおける抗精神病薬を中心とした薬物療法やライフステージを考慮した社会生活支援及び精神障害者リハビリテーションシステムについて教育・研究を行う。

3 教員の研究課題等

(2026年4月1日現在)

教員の在籍状況については、4月以降変更になる場合があります。

※連絡先 市外局番：099－， E-mail address －@以下に health.nop.kagoshima-u.ac.jp

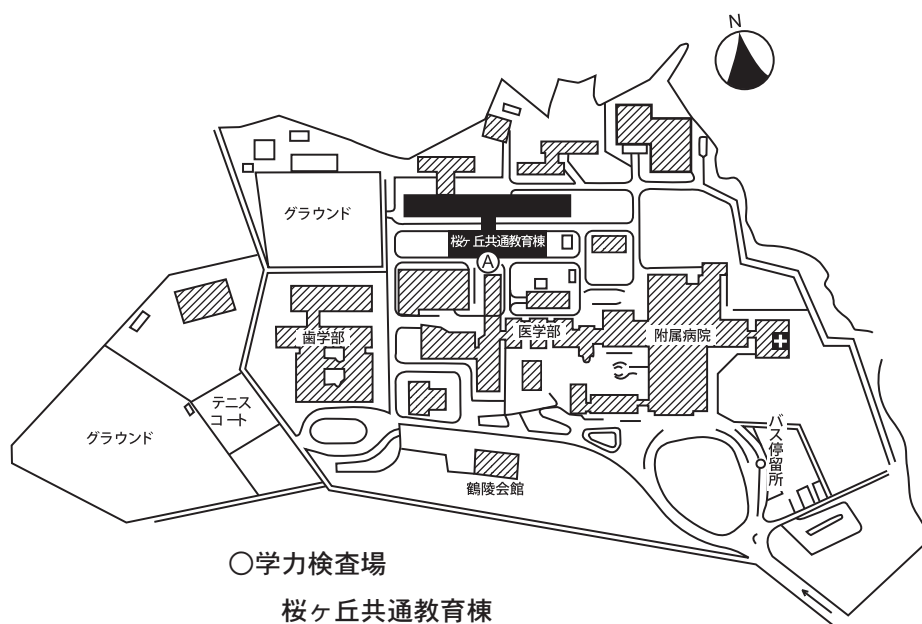
所属領域	職名	氏名 (連絡先)	研究課題	所属領域	職名	氏名 (連絡先)	研究課題
保 健 看 護 学 領 域	教授	井上尚美 TEL・FAX 275-6765 E-mail midwifeb@	1. 離島における助産師活動に関する研究 2. 助産師の実践能力に関する研究 3. 助産師教育に関する研究 4. プレコンセプションケアに関する研究	保 健 看 護 学 領 域	教授	宮田昌明 TEL・FAX 275-6742 E-mail miyatam@m3.kufm. kagoshima-u.ac.jp	1. 健康寿命延伸を目指したヘルスプロモーション科学研究 2. 循環器疾患の診断・治療・看護に関する研究 3. 心不全の緩和や終末期医療に関する研究 4. 多職種連携に関する研究
	教授	佐々木 八千代 TEL・FAX 275-6751 E-mail ysasaki@	1. 地域在住高齢者の健康と生活に関する研究 2. 入院・施設入所高齢者への生活環境支援に関する研究		教授	八代利香 TEL・FAX 275-6755 E-mail yatsu-r@	1. 看護倫理に関する研究 2. 離島におけるヘルスケアシステムに関する研究 3. 看護の人的資源に関する国際的研究 4. 国際看護学に関する研究
	教授	西尾育子 TEL・FAX 275-6758 E-mail ikuko@	1. 生活の再構築に関する研究 2. 慢性病をもつ人の心理構造に関する研究 3. 看護教育に関する研究		教授	山下 亜矢子 TEL・FAX 275-6757 E-mail aya-yama@	1. 薬物・アルコール使用障害を有する人の回復に関する研究 2. 司法精神看護に関する研究 3. 精神科医療における行動制限最小化に関する研究 4. 看護マネジメントに関する研究
	教授	根路銘 安仁 TEL 275-6597 FAX 275-6449 E-mail nerome@	1. HTLV-1 母子感染予防対策 2. 小児死亡症例登録検証制度 3. 地域における小児保健提供体制構築		教授	若松 美貴代 TEL・FAX 275-6790 E-mail mikiwaka@	1. 周産期のメンタルヘルスに関する研究 2. 乳幼児の育児環境に関する研究 3. 子育て支援に関する研究
	教授	古島大資 TEL・FAX 275-6793 E-mail dfuru@	1. EBMと疫学・生物統計学に基づく健康な地域づくり推進に関する研究 2. 食品の機能性・安全性に関する研究 3. 離散シミュレーションモデルの臨床応用に関する研究	准教授	兒玉 慎平 TEL・FAX 275-6794 E-mail kodama@	1. 地域におけるマンパワーの有効性についての研究 2. 地域における医療情報の有効利用についての研究 3. 医療安全管理における組織文化の役割に関する研究	

※連絡先 市外局番：099－， E-mail address －@ 以下に health.nop.kagoshima-u.ac.jp

所属領域	職名	氏名 (連絡先)	研究課題	所属領域	職名	氏名 (連絡先)	研究課題
神経運動障害基礎学領域	教授	榊 間 春 利 TEL 275-6778 FAX 275-6804 E-mail sakaki@	1. 病態モデル動物を使用した運動療法の効果とメカニズムに関する研究 2. 整形外科術後の運動機能と理学療法に関する研究 3. 中枢神経疾患の理学療法に関する研究	臨床精神神経障害学領域	教授	赤 崎 安 昭 TEL・FAX 275-6781 E-mail akaaki@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp	1. 精神障害者のリハビリテーションに関する研究 2. 作業療法の適応決定および奏功機序などに対する臨床精神病理学的研究 3. 司法精神医学に関する研究
	教授	崎 山 佑 介 TEL 275-6770 E-mail sacky@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp	1. 遺伝性ニューロパチーのゲノム研究 2. ミトコンドリア病の研究 3. 神経変性疾患のリハビリテーションに関する研究		教授	窪 田 正 大 TEL・FAX 275-6807 E-mail kubota@	1. 脳血管障害に対する認知リハビリテーションに関する研究 2. 高次神経障害作業療法に関する研究
	教授	永 野 聡 TEL 275-6771 FAX 275-6804 E-mail naga@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp	1. がん口コモの病態に関する研究 2. がん患者のリハビリテーションに関する研究 3. 運動器の老化に関する研究		教授	田 平 隆 行 TEL・FAX 275-6780 E-mail tabitaka@	1. 認知症及び神経疾患のリハビリテーションに関する研究 2. 認知バイアス修正に関する研究 3. 地域作業療法に関する研究
	教授	牧 迫 飛雄馬 TEL 275-6775 FAX 275-6804 E-mail makizako@	1. フレイルに関する基礎および疫学的な研究 2. 健康長寿に関するコホート研究および介入研究 3. 老年学および老年社会科学に関する実証的研究		教授	平 尾 一 樹 TEL 275-6785 E-mail kazuki.hirao@	1. 精神障害者に対する作業療法に関する研究 2. メンタルヘルスに関する研究
	准教授	大 渡 昭 彦 TEL 275-6772 FAX 275-6804 E-mail oowatash@	1. 神経伝達物質を指標とした運動療法の効果とその機序に関する研究 2. 物理療法に関する研究 3. 医療経済学に関する研究				
	准教授	木 山 良 二 TEL 275-6774 E-mail kiyama@	1. 動作の運動力学的分析に関する研究 2. ウェアラブルセンサーを用いた歩行分析に関する研究 3. 神経系疾患の理学療法に関する研究				

鹿児島大学大学院保健学研究科保健学専攻入学試験場

鹿児島大学桜ヶ丘地区



○学力検査場

桜ヶ丘共通教育棟

Ⓐ掲示板 (検査場の案内と注意事項)

桜ヶ丘共通教育棟 1階

本学への交通機関

鹿児島大学ホームページ (桜ヶ丘キャンパス)

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/access.html>

問い合わせ先

鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係

〒 890-8544 鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

TEL 099-275-6724

FAX 099-275-5136

URL <https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~g-health/>

E-mail isgghk@kuas.kagoshima-u.ac.jp